

# 令和5年度学校要覧より

## 寄宿舎概要

### (1) 職員

- 舎 監 4名
- 寄宿舎指導員 21名

### (2) 舎生状況

学 部	計
小 学 部	0
中 学 部	10
高 等 部	18
計	28

# 令和5年度寄宿舎のしおりより

## 1. 寄宿舎の教育方針

### (1) 本校の教育目標

- ・児童生徒の特性と教育的ニーズの把握に努め、個に応じた教育計画・実践の充実を図る。
- ・進路指導の充実努め、キャリア教育の実践を積み重ねて卒後の自立的な社会生活を目指す。
- ・健康・安全教育の充実を図り、安全・安心な教育環境を整備する。
- ・児童生徒の主体性を尊重し、「明るく」「素直に」「元気よく」「たくましく」生きる力を育む。

### (2) 寄宿舎の教育目標

- ・身の回りのことに自分で取り組み、楽しみをもって寄宿舎生活を送りながら、人との豊かな関わりを持つことができる子どもを育てる。

### (3) 寄宿舍の教育方針

#### ○ めざす子ども像

- ・身の回りのことを自分でできる。
- ・楽しみをもって生活することができる。
- ・人との豊かな関わりをもつことができる。

#### ○ 目標とする生活

- ・落ち着いた生活、主体的な生活、見通しを持てる生活、仲間とともに過ごす生活、楽しみをもつ生活、このような充実した寄宿舍生活を送り、卒業後も健康で豊かな社会生活を送ることができる力を身につけられるように支援する。

#### ○ 教育指針

- ・ゆとりを感じ、くつろぐことができる生活を送れるように支援をする。
- ・行事や生活についての考えを出し合い、意欲的に行動できるように支援をする。
- ・自分のことは自分で決めながら、見通しをもつことができるように支援をする。
- ・仲間のことを思いやり、お互いを認め合い、助け合う生活を送れるように支援をする。
- ・遊びや趣味などに取り組み、楽しみを持つことができるように支援をする。

## 2. 寄宿舎の生活

### (1) 1日の生活

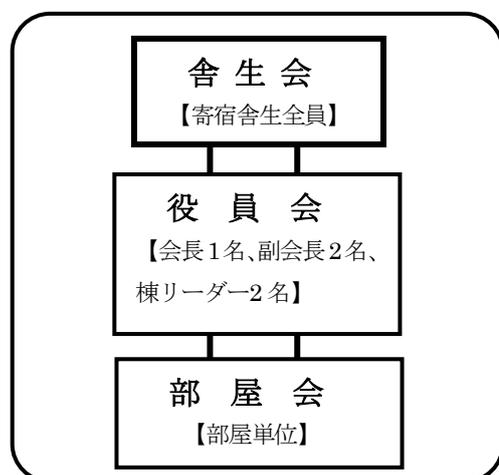
日 課 表	
6 : 30	..... 起 床 .....
	..... 身 支 度 .....
7 : 45	..... 朝 の 会 .....
	..... 朝 食 .....
8 : 45	..... 登 校 .....
	学 校 生 活
14 : 35	※月曜日…中学部下校
15 : 30	..... 下 校 .....
	自 由 時 間
	洗 濯
	お や つ (火・木)
	学 習
	行 事 など
17 : 15	..... 夕 食 (食堂入堂) .....
18 : 00	..... 入 浴 .....
	..... 自 由 時 間 .....
22 : 00	..... 就 寝 ・ 消 灯 .....

## (2) 年間の行事

4 月	5 月	備 考
保護者会役員会 整列訓練	保護者連絡会 火災想定避難訓練	※安全点検（毎月）
6 月	7 月	
	夏まつり 大掃除 寄宿舍だより発行 学舎連絡会	
8 月	9 月	
	寄宿舍説明会 避難訓練（避難場所の 確認） 地震想定避難訓練	
10 月	11 月	
体験入舎 （通学生）	体験入舎 （外部生）	
12 月	1 月	
クリスマス会 大掃除 入舎委員会 学舎連絡会 寄宿舍だより発行	保護者会役員会 避難訓練（避難場所の 確認） 不審者対策避難訓練	
2 月	3 月	
節分	寄宿舍メモリアル 大掃除 寄宿舍だより発行	

## (3) 舎生の活動

### ○ 舎生会組織図



### ○ 活動内容

舎生会総会	舎生会の係り活動の内容紹介 各学期の振り返り等
舎生会役員会	舎生会の運営・部屋会の意見集約 朝の会進行 ボランティア活動に関わる活動 行事のための話し合いの準備
部屋会	部屋での活動や行事の話し合い 月行事の確認、意見要望などの話し合い

○年間活動計画

活動内容		その他の活動
4月	新入舎生歓迎会 舎生会役員任命式	朝の会 部屋会 舎生会役員会 スポーツクラブ たのしいタイム ハートミーティング スキルアップ ライフミーティング 〈当番活動〉 食堂当番 風呂掃除 日直 〈ボランティア活動〉 花苗植え
	オリエンテーション	
5月	舎生会総会	
6月		
7月	夏まつり 舎生大掃除	
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	クリスマス会 舎生大掃除	
1月		
2月	豆まき 舎生会役員選挙	
3月	寄宿舍メモリアル 舎生大掃除	

(4) その他

生活実習

卒業後に自立した生活を送るために必要な生活スキルを身に着けるための実習です。希望者や必要に応じて計画をします。具体的には、生活実習室で一人で生活し、社会生活習慣（あいさつ、言葉遣い）や生活スキル（掃除、入浴、洗濯、調理、戸締りの確認）の向上を目指します。

### 3. 寄宿舎の入退舎の基準

#### 1 入舎基準について

○入舎の条件として以下の5項目が、必須事項となります。

- ① 医療的ケアが不要である。
- ② 集団生活が可能な健康状態である。
- ③ 食事は寄宿舎食で可能である。
- ④ 著しい自傷・他害および睡眠妨害等の行動がなく、集団生活ができる。
- ⑤ 病気、災害等の緊急時に保護者が責任をもって対応ができる。  
※病気、災害以外でもお迎えをお願いすることがあります。  
(暴力行為、破壊行為があった時など)

#### 2 入舎の決定について

○入舎については、学校に設置する入退舎委員会で総合的に審査し決定をする。

- ① 入舎の期間は1年とし、毎年審査して決定する。
- ② 年度途中の転入学者については、入退舎委員会を開いて審査をする。

#### 3 退舎について

○次の項目に該当する場合は、退舎するものとする。

- ① 入舎を認められたその年度が終了した場合。
- ② 入舎基準に合わなくなった場合。
- ③ 保護者から退舎願いが提出された場合。
- ④ その他退舎が適当と判断した場合。

## 4. 寄宿舎からのお願い

### (1) 欠席や遅刻等の連絡について

- ア 登校時刻は、中学部生、高等部生共に、8時45分です。
- イ 欠席・遅刻の連絡は、8時20分までに学校へ連絡をお願いします。

### (2) 帰省・帰舎について ※帰舎日とは家庭から寄宿舎に行く日

- ア 学校休業日の前日は、帰省日となります。
- イ 帰舎日は、7時30分から寄宿舎を開けます。帰省日は18時に閉舎します。帰省・帰舎・来舎の際には、必ず保護者も一緒に、舎務室へお寄りになり、受付をしてください。
- ウ 帰舎日は、7時30分開舎となっていますが、担当・保護者との話しができるよう、なるべく8時20分から8時30分の間をお願いします。週途中の帰舎については事前に担当に連絡をお願いします。

- 週途中の帰省については、子どもたちの社会的自立や情緒の安定・健康面を踏まえて、保護者・寄宿舎担当の間で十分に話し合い、決めたいと思います。

学校行事（体育祭・はってん祭・授業参観日）の時は16時50分閉舎です。  
寄宿舎の行事（入舎説明会・保護者連絡会・夏まつり等）には、参加をお願いします。  
始業式・終業式・修了式・行事日（体育祭・はってん祭など）の帰省は、保護者同伴でお願いします。  
※その他 給食及び昼舎食がない日（終業式など）は13時に閉舎します。

### (3) 単独帰省・帰舎について

- ア 単独帰省・帰舎をする生徒は、「単独帰省・帰舎実施要項」に沿って学校長の許可を取る必要があります。
- イ 単独で帰省する場合は、自宅に着いたことの確認をとっています。家に着いたらすぐに電話連絡をお願いします。
- ウ 体調不良や問題が生じた場合は、保護者の送迎をお願いします。  
※問題が生じ、解決しない場合は認可が取り消しになる場合もあります。

### (4) 病気とけがについて

- ア 病気やけがなどの場合は、家庭へ連絡します。その後、保護者の判断のもと、通院や自宅静養をお願いします。  
その為、確実に連絡・確認が取れるよう、緊急時の連絡先をお知らせください。  
必ず連絡が取れるよう複数の連絡先をお伝え願っています。

※連絡する場合の例

- ・ 定時検温（朝食前、夕食前に実施している）にて37.5度以上あり、再検温後も37.5度以上の発熱があった場合。
- ・ てんかん発作、または発作が疑われる場合。その後の様子により、保護者に送迎をお願いすることがあります。
- ・ 急な発熱や嘔吐、下痢などがあり、感染症等（嘔吐下痢症、新型コロナ、インフルエンザ等）が疑われる場合。
- ・ 大量の出血や強い痛みを伴う打撲など。

## （5）医薬品の使用について

- ア 医師の指導に基づいて出された「薬の説明書」があるもののみお預かりして服薬支援ができます。市販薬は服薬支援はできません。  
薬や服薬支援についてご不明な点などありましたらご相談ください。
- イ 薬の受け取り時は、使用目的、使用方法、数量など直接、保護者様と確認をしています。  
内用薬・外用薬、いずれにおいても「薬支援の依頼書」※p10参照の提出をお願いします。依頼書については、寄宿舍職員へお尋ねください。  
週末には「内用薬（外用薬）支援の記録」の確認、サインをお願いします。
- ウ 保湿や保護を目的としたクリーム（ハンドクリームやリップクリームなど）は、本人が管理して適切に使用できる場合のみ持ち込みを許可しています。  
持ち込む場合は担当にご相談ください。

- ・ 医師より新しい薬が処方された場合には、副作用を見る必要があります。保護者のもとで確認をお願いします。やむを得ず、副反応の確認を寄宿舍の職員に依頼される場合には、すぐに対応できるようにお願いします。

## （6）その他

- ア 始業式・終業式・修了式当日は、寄宿舍担当との懇談を必ずお願いします。
- イ 衛生管理上、食べ物の持ち込みはできません。特別な事情がある場合はご相談ください。
- ウ 余暇に使用する個人の物（ゲーム・カード・音楽プレイヤー）については、本人・保護者・担当との話し合いの上、使用できます。  
（破損・紛失については責任は負えません）
- エ 外出をされて寄宿舍に戻られる場合、原則19時までに帰舎していただきますようお願いいたします。夕食は17時30分までに帰舎いただければ提供可能です。それ以降になられる場合は食事を済まされてから帰舎いただきますようお願いいたします。入浴は18時30分までに帰舎していただければ利用可能です。
- オ 学校を欠席された日は、できる限り翌日からの舎泊をお願いします。ただし、事情がある場合は、事前にご相談ください。
- カ 帰省・帰舎日の駐車は、男子棟東の駐車場を利用してください。（※舎内見取り図参照）

## 5. 寄宿舎生活に必要なもの

### (1) 寝具類

- ・布団一組、枕、毛布、タオルケットなど（季節・体に合ったもの）
- ・掛け敷き布団カバー、枕カバー（各2枚程度）
- ・パジャマ（季節・体に合ったもの、着やすいもの）

※帰省日ごとに確認して増減してください。マットレスは不要です。

※必要に応じて夜尿マット（大人用）やシーツ、パジャマなど多めに準備してください。

※カバーやシーツは取り外しのしやすいものをお願いします。

（カバー・シーツ類は、定期的に持ち帰り洗濯をお願いします。）

### (2) 衣類

- ・衣類、下着類、靴下（それぞれ5組程度）

※季節に応じて調節、増減してください。

※服は体に合ったもので集団生活に適したもの、一人で着脱ができるもの、また洗濯機・乾燥機にかけられるもの等を用意してください。

※帰省日・帰舎日ごとに必ず衣類の整理、補充、記名の確認をお願いします。

### (3) 日用品

- ・洗面用具（洗面器、コップ、歯ブラシ、歯磨き粉、石鹸またはボディシャンプー、シャンプー、洗顔フォーム等）
- ・タオル（5枚程度） バスタオル（必要な人は持参下さい） 洗体用タオル（1枚）
- ・ハンカチ（5枚程度） 箱ティッシュ ポケットティッシュ
- ・ハンガー（5～6本程度） ピンチハンガー（下着や小物干し用として） 洗濯ネット
- ・傘 長靴（必要に応じて）
- ・水筒（食器乾燥機にかけられるもので、350 ml～1 l程度のもの）  
※時々、家庭での漂白消毒をお願いします。
- ・ふた付きバケツ（洗濯用） 洗濯用洗剤 洗濯かご
- ・舎内用上ばき（音のしない、かかとの低いもの）
- ・生理用品（女子） ひげそり（必要に応じて） ブラシ
- ・マスク（配膳用）

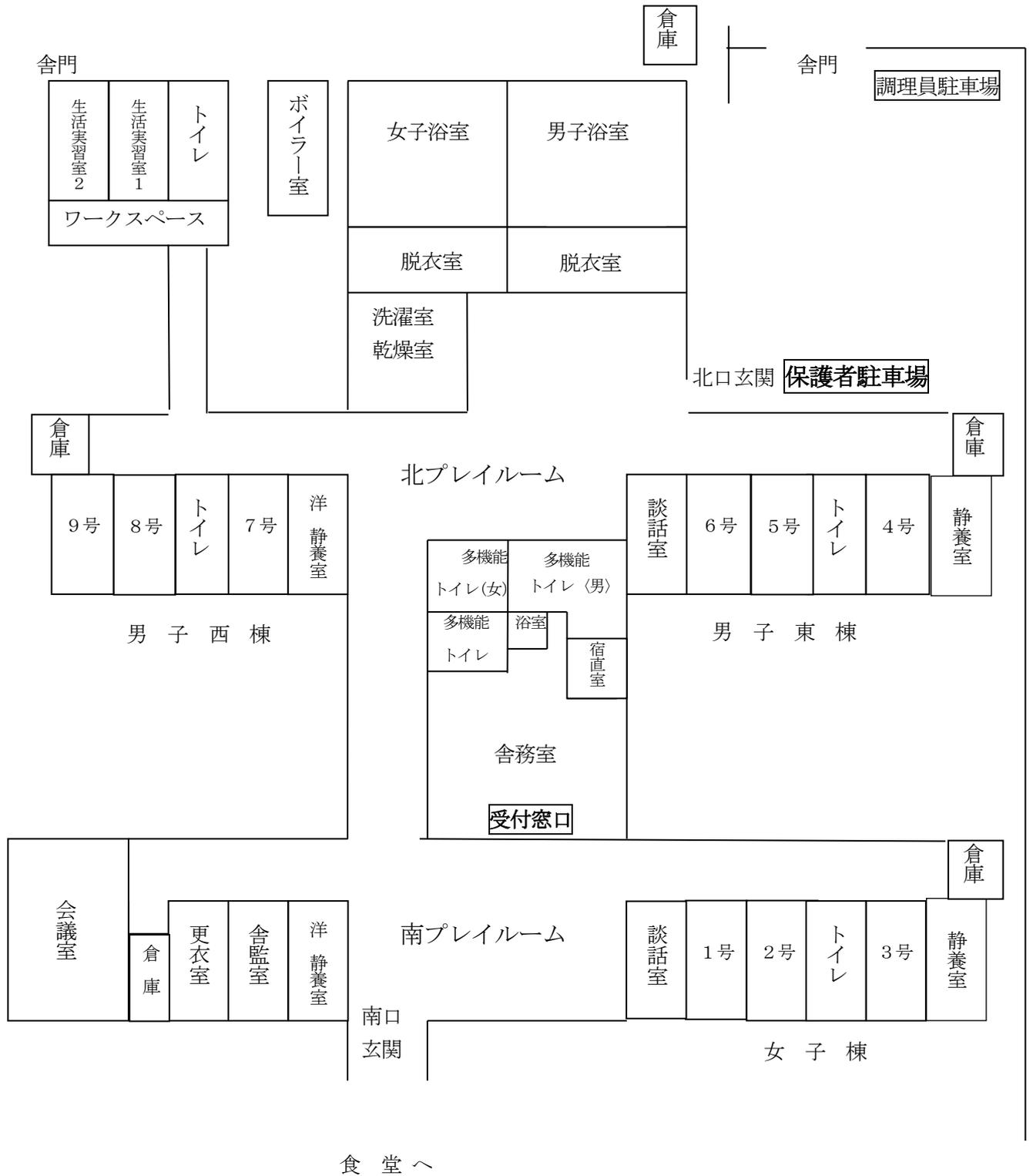
注）指導・支援により、個別に準備をお願いする場合があります。

※ 持ち物や衣類にはすべて記名し、時々点検補充をお願いします。

※ 寄宿舎の生活及び学業に必要な物・貴重品・危険物は持って来ないようにしてください。

※ 長期休業期間（夏・冬・春）は舎内の大掃除や消毒を行いますので、衣類、寝具類などの荷物は持ち帰ってください。

# 舎内見取り図



# 薬支援の依頼書

学校・舎共通様式

令和 年 月 日

佐賀県立伊万里特別支援学校長 様

保護者氏名（自筆）

学部	小 中 高	学年	年	氏 名	
依頼理由	(例) 風邪のため病院受診 5日間薬服用 湿疹のため病院受診 ○日間薬塗布 等の記入をお願いします。				
内容	(例) 薬品名) ○○○ 服用方法) 昼食後1錠 *薬をとかしてストローを使う等の記入をお願いします。 ※外用薬は、塗布の方法を記入して下さい。				
医療機関					
期間	令和 年 月 日 ( ) から 令和 年 月 日 ( ) まで ※薬の種類の変更や支援の期間が延長になる場合等、「薬支援の依頼書」の再提出をお願いします。				

- 学校および寄宿舍では、病院処方薬しか服薬支援ができません。
- 薬の説明書の写し、またはお薬手帳の写しを添付してください。
- 薬の説明書がない場合は、薬の飲み方（塗布の方法）を詳しく記入してください。
- 薬を忘れた時は連絡をしますが、連絡がつかなければ服薬できないこととなりますのでご注意ください。
- 申し訳ありませんがご了承ください。

保護者様、学校生活また寄宿舍生活についてお尋ねします。

1	学校への登校について医師から許可を得ていますか。	はい いいえ
2	学校での服薬について医師から許可を得ていますか。	はい いいえ
3	寄宿舍生は寄宿舍での宿泊と服薬について医師から許可を得ていますか。	はい いいえ

## 内用薬（外用薬）支援の記録

児童生徒氏名( )

月日	曜日		担当	確認欄
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				

月日	曜日		担当	確認欄
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				

月日	曜日		担当	確認欄
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				

月日	曜日		担当	確認欄
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				

## 薬の取り扱いについてのお願い

### 注 意

本校では、市販の薬や薬の説明書のない薬は預かって服薬支援はできません。薬の支援が必要な場合は病院を受診し、薬の説明書又は薬の名称や服薬時間が分かる物（明細書やお薬手帳など）をお持ちください。

### 1、薬の取り扱いについて

- ・服薬支援をご依頼される場合は、「薬支援の依頼書」に記入され、薬の説明書と一緒にご提出ください。院内処方病院などで薬の説明書をもらえない場合は、薬の名称や服薬時間が分かるもの（明細書やお薬手帳など）をご持参ください。
- ・薬は寄宿舍からお渡しするクリアケースに貼り付け、「薬の内容、服薬時間、服薬期間」を担当または他の職員に説明をしていただきお渡しください。
- ・本校は、薬の空袋の返却を行っています。帰省日に空袋の確認をしていただき、「内用薬(外用薬)支援の記録」に受け取りのサインをご記入ください。

#### ※服薬依頼書の変更・修正がある場合

同じ薬であっても、薬の量・薬を飲む時間・薬を飲む回数など少しでも指示内容に変更がある場合は、改めて「薬支援の依頼書」を提出してください。

#### ※単独帰省・帰舎を行っているお子様について

単独帰省・帰舎を行っているお子様が服薬をされる場合は、保護者の方に直接薬をお持ちいただくか、電話にて薬を持ってきていることと薬の内容、服薬の時間等の説明をお願いします。服薬後、お子様が「空袋」と「内用薬(外用薬)支援の記録」を帰省日に持ち帰ります。保護者の方が空袋の確認をされ、受け取りのサインをご記入していただき、お子様が帰舎日に持ってくるようお願いいたします。

### 2、舎内での薬の管理について

#### I) 内服薬について

##### 粉薬・錠剤の場合

- ・錠剤・カプセル等はチャック式のビニール袋に入れてください。
- ・消えにくいペンで氏名（フルネーム）・日付・曜日・時間帯(時間の指定がある場合は時間)・薬の数(○錠・○包)をご記入ください。
- ・ビニール袋に直接氏名や薬の内容について書かれるか、紙に書いて袋の中に入れてください。
- ・薬は寄宿舍からお渡しするクリアケースに日付と時間順にテープで貼り付けるようお願いいたします。(図参照) その後、担当または職員と薬の確認を行い、お渡しください。

※予備薬を非常時に持ち出す薬として保管しますので、1回分持ってきてください。

[薬の貼り方の例]

伊万里太郎				
	○/○ (火) 朝食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (水) 朝食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (木) 朝食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (金) 朝食後 ○錠 伊万里太郎
○/○ (月) 夕食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (火) 夕食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (水) 夕食後 ○錠 伊万里太郎	○/○ (木) 夕食後 ○錠 伊万里太郎	

**水薬の場合**

容器か容器を入れる袋に氏名（フルネーム）・服薬の時間・量をご記入ください。なお、記入の仕方が分からない時は、部屋担当にご相談ください。また、保存の方法（冷蔵庫保存など）なども担当にお伝えください。

**Ⅱ) 外用薬について**

塗り薬や点眼薬、湿布などの外用薬についても氏名（フルネーム）・用法・塗布の場所の記入をお願いします。小さい容器のものは、紙に氏名・用法・塗布の場所を書いて、チャック付きのビニール袋、またはタッパ等に入れてください。

**Ⅲ) 保湿や保護を目的としたクリーム剤の使用について**

保湿や保護を目的としたクリーム（ハンドクリームやリップクリームなど）は、本人が管理して適切に使用できる場合のみ持ち込みを許可しています。持ち込む場合は、担当にご相談ください。